

海外研修Ⅱ (Overseas Training Ⅱ)	2 年・通年・1 単位・選択 5 学科共通・担当 鍵本 有理	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)		
<p>〔教育方法等〕</p> <p>概要： グローバル化が叫ばれている現在，海外の教育機関への語学留学，短期・長期の海外研修，国際交流プログラムに対する学生の積極的な参加を促すとともに，国際的な視野の涵養，異文化に対する意識の向上，学習への意欲を高めることを目的とする。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 本校が実施する国際交流プログラムの他，他機関主催の海外派遣プログラムなどにおいて，研修先で用意された研修内容を体験することになる。 なお，研修先においては各自が目標を設定し，積極的な態度で臨む必要がある。</p> <p>注意点： 関連科目 これまでの英語の学習内容だけでなく，歴史や文化に関する幅広い知識が求められる。</p> <p>学習指針 研修先の参加者と積極的に交流し，工学・技術の分野だけでなく，文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。</p>		
<p>〔教科書〕 なし</p> <p>〔補助教材・参考書〕 本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化に対する理解を深めるとともに，他者・他国の立場に立ってその価値観の違いを認め，自国の文化についても紹介ができる。 ・ 英語をはじめとする，母語以外の外国語を使って，一定のコミュニケーションを図ることができる。 		
<p>〔評価割合〕</p> <p>研修内容が明記された要項等と，研修等終了報告書の内容をもとに評価する。 なお評価実施の条件として，研修等修了証明書の提出が必要である。 認定に必要な条件を満たしていれば，「合格」の評価とする。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己 評価*
	1 週	1. 実施時期 夏季休業期間中もしくは学校に認められた期間 2. 実施期間 5 日間以上および合計 30 時間以上 3. 研修内容 研修先のプログラムによる (研修先の文化に触れ、日本語以外の言語による交流がなされること) 4. 研修先 学校が認めた研修先 (国外) 5. スケジュール 事前に「単位認定申請・認定書」(所定の様式)を学生課教務係で受け取る。 研修終了後、速やかに 「研修等終了報告書」(様式任意) 「プログラム・要項」等、研修内容等が記された書類 「プログラム修了証書」 を提出する。 なお、必要に応じ、研修報告会等を実施することがある。		
	2 週			
	3 週			
	4 週			
	5 週			
	6 週			
	7 週			
	8 週			
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			
	16 週			

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。